

日 刊

新東京

NO 4191

2006年
12月1日(金)

JPU新東京支部
編集委員会

03-5690-2847
内線 4163

飲酒運転・セクハラ問題 の最近の事情

公社の信頼を考える……あつてはならないこと

最近、飲酒運転・セクハラについてマスコミで大きく取り上げられる。特にその取り上げ方は、公務員はすべてが悪いと言わんばかりである。飲酒運転はその場でクビになるというきびしいものである。

る。また、セクハラは痴漢と同様であり、まったく許せないことである。世論に厳しい視線でみつめられている。

郵政公社においても、ビデオ研修などをおこなない、厳重処分をするなどの対処をおこなっている。

最近、「火のないところには煙はたたない」という事例が伝わってくる。

特に、管理者・告一などの「自主退職」があるという。このような「自己責任」の取り方は良いとして、ウヤムヤにされ、被害者が退職や配転させられることなどがあるという。

こういう本末転倒の事態がないように私たちは、厳しく自分の職場を見つめていかなければならない。

よりよい民営会社を迎えるためにも当局の自浄能力を発揮しての解決を期待したいと思う。私たち自身も「飲んでいて忘れた」などというような言い訳は許されないことを肝に銘じていかななくてはならないと思う。

映画「父親たちの星条旗」を観てきました

硫黄島での戦争を描いた二部作の一作目

友人のお爺さんが硫黄島で住んでいて、戦争のために強制的に疎開されたと聞いていたので、友人たちと、「父親たちの星条旗」を観に行った。久しぶりの映画館は近代化され、席は斜めになっていて見やすく、音響効果が良い。映画の中に自分がいられるような感覚におそわれるものだった。

えさせられる映画だった。ぜひ、時間を作って観てもらいたいと思った。戦争の背後で、戦争を続けるための予算をどのようにつくりあげるのかという、国家の思惑で星条旗が利用され、若き兵士を英雄に祭り上げていく姿がわかりやすく描かれる。戦死する若き兵士には、家族があり、恋人があり、兵士ひとり一人には尊い命があること。一人の命はあ

まりにも大きい。戦場面では、肉の破片とかしていく。そして、戦争には敵も味方も区別できない心理状況におかれ仲間さえ殺してしまう。これが事実なんだからと思わされる。何百名死亡・・・この背後に、何千名もの悲しむ人たちがいることを、さりげなく映しだす。このさりげなさか逆に引きつけさせる。しかし何のためには、戦争をやるのかということ。この硫黄島戦の結果、日本本土にB29が来襲して東京大空襲にむすびつくことを知った。どんな理由があろうとも戦争は絶対に対していきたいと思わされた。

はなかつたが、なかなか考

戦争映画は残酷で好きで

戦争は絶対に対していきたいと思わされた。

地本交渉情報

一、配達記録の入った輸送容器の

封かん省略の試行について

先日、本紙において、配達記録の処理コストが年々増加している状況について記事を掲載したが、先月三〇日支社より、配達記録のみが入った輸送容器の封かん省略の試行について、情報提供があった。

封かん省略の対象は、当局から芝局あての配達記録のみが入った輸送容器。実施は、今月一三日(水)下3号便から二六日(火)まで。ただし、継越の郵袋・ケース・パレットは除くとしている。

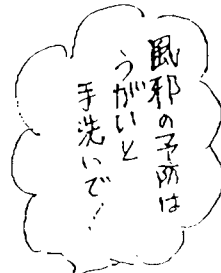
今後の拡大実施等については未定。配達記録の内容の多くはクレジット

二、外国来返還郵便物処理に伴う

返還表示の試行について

現在、外国来郵便物を返還処理する際、一般局で日本語表示の返還印を押し、更に東京国際局で、外国語による返還理由表示をしている。この二度手間を改善し、東京国際局の作業効率化を図るため、試行局で当該郵便物の返還表示を日本語とフランス語の併記

カードやキャッシュカードが占める。四年前より防犯対策を強化するため、現行の郵袋やケース納入で封かんしてきたが、取扱コスト増になっていた。



した返還印を使用し、作業軽減を図るというもの。

試行局は東京中央、神田、麹町、日本橋、京橋、銀座、芝、麻布、赤坂、高輪の一〇局
実施日は一二月二三日(水)から当分の間

観てますか？新東京支部ホームページ

幾つもの職場を経験してくと、労働組合の支部と組合員との「近さ」は様々。新東京は深夜勤が多かったりするので、組合員との交流は難しい職場であることは確か。日常の組合情報は日刊紙等や役員からの情報伝達で見聞きするが、やはり深夜主体の交替制勤務の中、それを補う情報ツールは必須。

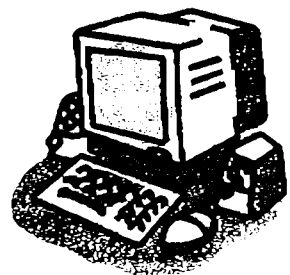
特に、民営化を前に未来がみえにくい時代だからなお更。

たまに、わが新東京支部のホームページを観る。毎日の日刊紙からイベント、支部会議の内容、関連サイトの紹介等盛り沢山。何より、逐次更新されているのがウレシイ。管理人はさぞかしたいたへんだと思うが、支部段

階のHPでこれだけコンテンツ豊富なのは、あまりない。自慢できる内容だ。

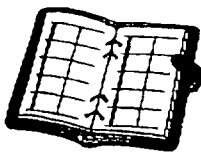
と言っても、組合員にHPを観なければ情報が伝わらないという状況は、いわゆる「デジタルデバイド」(コンピュータによる情

報格差)を助長することになるので、より便利な情報ツールとして観ていただければ。



新しい手帳がうれしい

配布された組合手帳を手にする。当面の年明けまでの勤務指定表と、今年の手帳から引継ぐ事項を書き込む。手帳はもう三〇冊近くになった。全てとってある。約三〇年分の自分の半生の記録集。何年前のいつ何があったか、家庭のこと、職場のこと、読んだ本のタイトルまで、全て一目で判る。そして、新しい手帳に、来年一年間の予定と目標・やるべきことを書き込む。新しい手帳一冊で、気持ちが高新たになる。新しい手帳がうれしい。



日 新東京 刊	NO 4194	2006年12月6日(水)
	日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
	03-5690-2847	内線 4163

学習会のお知らせ

非常勤組合員の皆様へ

2007年10月に郵政公社は民間会社となります。非常勤の皆さんも職員と同様に労働条件や法令の適用など様々な変化が予想されます。

これまで私たちJPU(日本郵政公社労働組合)は政府機関や公社当局に対してこの間様々な交渉や対応を重ねてまいりました。今の職場を、少しでも処遇等が改善され、より良い職場環境が創られるように努力してまいりました。

これまでの経過と今後の展望を確かめ合いながら自信と安心を持って2007年を迎えたいと思います。

また、講師として新東京支部の上部機関であるJPU東京地本書記長をお招きして学習会の開催を予定しています。

より多くの組合員の皆さんの参加をお願いします。

日時. 12月9日(土)

AM8時30分～10時00分

場所. 1階 第一研修室

(事務棟玄関ギャラリーの隣です)

日本郵政公社労働組合 新東京支部

「投稿」

追悼・実相寺昭雄映画監督

映画監督の実相寺昭雄氏が十一月二十九日に亡くなった。六十九歳だった。

実相寺氏が映画監督に転身する前、TBSの演出家時代に手掛けた「ウルトラマン」「ウルトラセブン」などの円谷プロ作品を見て、特撮（ウルトラシリーズ）の虜（とりこ）になった人は多い。筆者もその一人で、実相寺氏が演出を手掛けた話の影響を受け、今もってウルトラシリーズにハマる人生を送っている。

若い頃は「普通の子供番組と

は一風変わった話を創る人」という認識だったが、子供と一緒に再観賞するようになって気が付いた、実相寺作品の何が魅力

だったかというところ、ほかの演出家の作品と比べてドラマが濃厚だったのだ。三十分（正確にはタイトルやCMが入るので二十六分前後）とは思えない話の濃密さで、しかも子供番組だからといって、よくある子供への教訓話にするのではなく、本格的なドラマを創っていた。これなら多くのオタクの印象に残り、

後代の特撮に影響を与える先駆

者に位置づけられてもおかしくないと思う演出家だった。

ウルトラシリーズでは、「ウルトラマンマックス」の『狙われない街』が、映画では十二月二十三日公開の「シルバー仮面」が遺作になった。

実相寺氏の御冥福をお祈りいたします。

〈追記〉翌日「ウルトラQ」「ウルトラマン」のBGMを作曲した宮内国郎氏の逝去が報道されました。ウルトラシリーズ創成期に尽力されたスタッフの死去が続き、時代の流れを思い知らされます。

宮内氏の御冥福を、併せてお祈りいたします。

【猫舌】

働く者の“目”で職場を検証しよう！

支部年繁要求書に回答出される！

支部は今年年末年始繁忙を迎えるに当たって、中央及び地方交渉のとりくみや拡大執行委員会等の議論や分会・職場からの昨年度の評価・反省を踏まえた意見等を踏まえて、平成18年度年末年始業務運行に対する支部要求書を11月1日に提出してきました。要求書に対する回答が11月28日に示されましたので、報告します。今年年繁対策は、上部機関へ支部の意見・要望を反映しつつ、局との間では事業推進労使委員会や窓口交渉等の場で論議を積み上げてきました。年繁交渉を整理するに当たり、①すべての職場で、年繁業務に関する課題について、全職員・ゆうメイトに対する業研等をしっかりと実施すること、②労働災害防止に万全を期すること、③不払い残業は絶対に許さないこと、等の3点を局に対して強く申し入れました。労働条件と業務運行確保を巡る課題は多くあります。職場で実際に働く者の“目”で、職場の検証をしっかりと行うこととします。年明けには年末始業務の評価と反省をテーマにした労使委員会が予定されています。

平成18年度年末年始業務運行に対する支部要求書

要求項目	回 答
<p>今年度の年末年始繁忙期の業務は、来年の民営化スタートを控えての公社最後の年であり、従来にも増して国民的注目度が高まるものと考えます。新東京郵便局の年繁業務にあっては、郵便ネットワークの最大拠点局として、円滑な業務運行確保と品質管理が平常時にも増して強く求められます。私たちJ P U新東京郵便局支部は、課題は多くあるものの、挙局体制で今年年繁業務をしっかりと成し遂げるなかから、展望を持って来年の民営化を迎える決意です。平成18年度年末年始業務運行に対する要求書を下記の通り提出しますので、誠意ある回答を示されるよう要請します。</p>	
<p>1. 今年繁を迎えるにあたって、局として全職員・ゆうメイトへ向けたメッセージを示されたい。</p>	<p>1. 別紙のとおり。なお、各部業務研究会資料には各部長のメッセージも示していく。</p>
<p>＜交渉概要＞ 組合としては、年末年始業務にあたり新東京局の任務をしっかりと果たしていくために、局全体の認識一致が大切だと考え、元気の出るメッセージを求めたところである。局は、小包部では繁忙期間が早いので別配布、特殊部にあっては、年明けの入試繁忙期に部長メッセージを例年どおり示していくと回答。各部の年末年始業務運行計画書に局長メッセージ・部長メッセージが添付されて示されることとなるが、その内容について、業研等の開催で、職場における理解と浸透を図っていきたいとした。</p>	

要求項目	回 答
<p>2. 局の業務運行計画はもとより、現場第一線である各部課における具体的計画は、昨年度の評価・反省を踏まえたものを早期に策定し、全職員・ゆうメイトに対する年繁計画の理解・浸透をはかる業研を必ず開催すること。</p> <p>＜交渉概要＞ 今期は、小包部の新型区分装置等の活用をはじめ、ここ数年は例年どおりの業務運行とはなっていない中、多くの変更点や新たな課題が各部とも山積する年末年始業務となる。現場第一線の各部課の早期の計画策定とその内容の落とし込みが、必要不可欠であることから、業研の実施状況の濃淡を無くすことを強く求めた。局は、業研やミーティング等をしっかりと行い、実施状況等をチェックしながら、ゆうメイトも含めて職員周知漏れがないようにしていくとした。</p>	<p>2. 今年年末年始の重要性に鑑み、職員・ゆうメイトに対し、十分な理解と共通認識が図られるよう業務研究会等を行っていく。</p>
<p>3. 大量に募集・採用する短期ゆうメイトは、雇用計画人数を完全確保すること。また、現在、長期ゆうメイトの退職等によって不足している労働力補充を早期に実現すること。</p> <p>4. 昨年度と同人数の専担者（年賀室・小包・デパート小包）の供出が予定されているが、専担者供出課の労働力措置（賃金・超勤）に万全を期すること。</p> <p>＜交渉概要＞ 短期ゆうメイト確保対策は勿論のことだが、長期ゆうメイトがなかなか補充出来ていない現状の是正を強く求めた。局は、出来る努力は最大限行っていくが、ゆうメイト確保対策は、厳しい現実との認識が示された。業務上必要な労働力措置については、業務運行確保の最大のポイントであることから、引き続き注視していく。</p>	<p>3. 4. 業務上必要な労働力については、局内相互応援も含め措置していく。</p>
<p>5. 専担者の選定は早期に確定するとともに、属人的にマル超・廃休や深夜勤回数等の勤務指定作成に無理を生じさせないこと。また、専担者の深夜勤連続指定は、平常時のパターンを厳守すること。</p> <p>＜交渉概要＞ 深夜勤務体制に変更となって以降、専担者の勤務指定のあり方について例年問題点が指摘されていることから、無理な歪みを生じさせないように求めた。派遣期間と所属課における前後の勤務指定期間トータルを含めて、定められたルールに基づいて配慮していきたいとの基本的考え方が示された。しっかりと検証を行いたい。</p>	<p>5. 専担者の勤務指定等は、関係規定等に基づき適正に行っていくとともに無理な指定とならないように配慮していく。</p>

要求項目	回 答
<p>6. 年繁期における勤務時間の適正管理のあり方について、局としての考え方を示すこと。</p> <p>◀交渉概要▶ 職員の善意に頼った業務運行確保は絶対にあってはならないと強く主張した。不払い残業は許さないという現場管理者の決意と具体的行動を強く求めた。</p>	<p>6. 勤務時間管理については平素から適性管理に努めているが、年末年始繁忙期間中においても適性管理を徹底していくこととしている。</p>
<p>7. 年繁期におけるJPS専担者のあり方について、供出課へ戻すことを含めて考え方を示すこと。また、業務輻輳時の他部課への応援要請の判断基準やあり方に関して、局としての考え方を示されたい。</p> <p>◀交渉概要▶ JPS推進室への要員は現場からの供出であり、現場労働力不足をゆうメイトに求める繁忙時期であること等考慮し、供出課へ戻すことを含めJPS要員の業務応援のあり方は再考すべきと求めた。地方交渉でも扱ってもらったが、JPS専担者は昨年末同様の扱いとなっている。また、局としての業務応援のあり方に関する基本的な考え方は、平常期は各部内対応が基本であり（部長判断）、繁忙期は局全体の業務運行を総合的に局として判断すると説明。組合からは、処理要員がいない等、労働力が適正配置・確保されていない現実があるのではないかと、応援者を出した現場業務に無理を生じさせるような安易な局内応援とならないよう強く求めた。</p>	<p>7. JPS専担者はJPS年賀の推進役として、改善業務に取り組むことを基本としているが、平常期同様、業務運行確保のために業務応援等も行っていく。また、応援要請は、全体の労働力を総合的に判断していく。</p>
<p>8. 区分、運送、パレット搭載方法等に関して、正規取扱の徹底を図るための具体的方策を講じること。</p> <p>◀交渉概要▶ 局として正規取扱いが遵守されるよう、違則取扱事例をチェックし、是正させる努力を継続していきたいとしているので、あきらめる事なく、具体的事例を記録・報告・要請する体制を継続していくよう現場でも努力したい。</p>	<p>8. 運送に関する業務取扱については、各郵便局がルールを遵守し、正規取扱いを行うことにより安定した運行が確保されることから、平常期と同様に、本社・支社・当該郵便局に対して要請していく。</p>
<p>9. 本社及び支社に対して、輸送容器類の管理の徹底を強く上申するとともに、ロールパレット・ケース等の不足による業務のあり方について考え方を示されたい。また、有証ケース作成用赤蓋の新規増配備を強く</p>	<p>9. 新東京郵便局のみならず、各郵便局における業務運行確保の面からも、本社・支社と連携して、各郵便局における輸送容器の偏在を防止し、回送便による回送の徹底を引き続き行っていく。なお、赤蓋について</p>

要求項目	回 答
<p>求めること。</p> <p>◀交渉概要▶ パレット・ケース等の不足は業務確保に多大な影響を与えている現実から、各郵便局への回送の指導徹底を本社・支社に強く求めるよう要請した。赤蓋については、予算的に新規増配備は困難とのことであり、年々配備数が減っていることから、回送要請の徹底と、単価面を含めて変わる何かを考えて欲しい旨を要請するよう求めた。</p>	<p>ては郵袋による代替使用を基本とするが、現存の赤蓋について、他支社管内を含め、支社から回送を依頼していく。</p>
<p>10. 年繁期における労働安全衛生対策に万全を期すること。</p> <p>◀交渉概要▶ 労働災害発生事例及び再発防止策等の周知徹底を強く求めた。</p>	<p>10. 年末年始期においては1,000名を超える短期非常勤職員の雇用もあり、局全体で4,000名近い職員が働くことになり、特に、厚生課において職場内の安全衛生及び職員の健康保持、その他状況の変化にも即応できるよう機敏に行動していくこととしている。</p>
<p>11. 年繁期の局舎使用計画に関して、具体的なレイアウトを早期に説明すること。</p> <p>◀交渉概要▶ レイアウト変更に伴う職員周知の徹底を求めた。</p>	<p>11. 局労使委員会窓口においてすでに示したとおり。なお、計画変更等、必要の都度、情報提供を行っていく。</p>
<p>12. 運送施設の増強等に関して、具体的決定と周知が例年、非常に遅く事前準備に苦勞するので、早期に現場周知をはかること。</p> <p>◀交渉概要▶ 運送便ダイヤ決定が非常に遅い現実を何とかして欲しいと強く求めた。</p>	<p>12. 局労使委員会の窓口においてすでに示したとおり。なお、確定次第、すみやかにミーティング周知及び掲示物等でもれのない周知を行っていく。</p>
<p>13. 年繁期の各職場の課題は、現場解決が基本であると考えますが、問題点等があれば、窓口で提起するので、課題の解決に向けた局としての特段の努力を要請します。また、労使間の意志疎通のさらなる充実がはかれるよう要請します。</p>	<p>13. 年末年始は労使が共通認識を持つことが必要不可欠であるので、形式的でなくより実質的な意志疎通を図っていきたい。また、緊急に対応を要する問題について組合から定期があった場合には、局労使委員会の窓口で誠意をもって対応することとした。</p>

【天声人語より】 キナ臭い今日…:

一二月八日は戦争開戦日

「妻へ 縁有って婚姻してより十有余年、此の間貧しいながら五人の子宝を得て楽しい団らんであった」。敗戦の約半年前の一九四五年三月に、太平洋の硫黄島で戦死した日本兵の「遺書」の一節だ

▼やはりこの島で戦死した別の兵士が、妻あてに書いた。「悲壮なる決心をするだけに子供こひしさに心の鬼も防ぎ得ず。未練がましくも幸ひ便りする機会を得て書き連ねる。― 常日頃、我いとし子を見つめては 心の悪魔払ひ来りし」

（『昭和の遺書』角川書店）。それぞれの思いを抱きつつ倒れた

▼日米の激戦地となったこの島を舞台にした米映画「父親たちの星条旗」が公開中だ。クリント・イーストウッド監督は、すりばち山に星条旗が翻る有名な写真にまつわる人と軍、国家の相克を描く

▼この写真は国威発揚に使われ、写真に絡む兵士たちは戦時国債の募集に駆り出される。そして「英雄」に祭り上げられることに違和感を覚えながら、流されて

ゆく

▼刻々と命が失われる戦場での営為は人の心を強くつかむ。国民は英雄を望み、軍や国家は英雄をつくろうと試み、メディアはあおる。もみくちゃにされる兵士たちの悲劇が、切々と伝わってくる

▼ブレヒトの戯曲に、こんなせりふがあつた。「英雄のいない国は不幸だ」「違うぞ、英雄を必要とする国が不幸なんだ」（『ガリレイの生涯』岩波文庫）。戦争は、妻や子や親を思いやる当たり前の青年同士を戦わせ、時には英雄の役回りまで強い。六五年前のきょう、日本軍の真珠湾攻撃で、太平洋戦争が始まった。

【一二月八日朝日新聞】

民営・分社化で働く意識はどう変わる？

* 国民・利用者のために働くことになにも変わりはない

郵政事業はこれまで、国民・利用者本位のサービスを提供してきました。また、国営・公共性の強い事業体とはいっても、税金を投じることなく事業を継続するには、採算のとれる経営を行うことが大切で、公共性と企業性の両立を求めてきたのがこれまでの郵政事業であったといえるでしょう。このことは民営・分社化されても何ら変わりません。ユニバーサルサービスを継続することは法律で義務づけられていますし、民間企業になる以上、事業の成長を追求していくことは当然のことです。

したがって、私たち一人ひとりの働き方、意識の持ち方もこれまでと大きく異なるものではありません。

* コンプライアンス&CS、労使の意識と文化の改革

今、民間企業ではコンプライアンス（法令遵守）とCS（顧客満足度）の徹底をはかる企業が増えています。実際、様々な不祥事をおこした企業は市場から撤退を余儀なくされることも少なくありません。

私たちはともすれば、上意下達、指示待ち、縦割り思考といった組織風土の中で仕事をしてきましたが、今後は自らが率先して提案するなどの行動が必要です。その意味では、働く一人ひとりが主体的に意識と文化の改革にとりくむことが民営化時代の働き方だといえるでしょう。

わたしたちの年金はどうなる？

民営・分社化後も引き続き「国家公務員共済年金制度」に加入することになります。本来であれば、民営化に伴って「厚生年金制度」に移行しますが、現在、政府内で公的年金制度の一元化を含む制度改革論議が行われていることもあり、当分の間は国家公務員共済年金制度に加入することになります。

暗雲漂う日本版 ホワイトカラー・イグゼンプション

米国のホワイトカラー労働者層に対し、一定の要件を満たしていれば米国の定める公正労働基準法の法規制に縛られず、使用者側は労働者に法定時間を超えても割増賃金を払うことなく何時間でも働かせることができる制度—これが、いわゆる「ホワイトカラー・イグゼンプション」というやつだ。不思議なことにホワイトカラーといっても管理職だけではなく、外勤セールスマンやタクシー運転手なども含まれている。

この労働時間規制の撤廃制度を政府が導入しようというのだ。これには日本経団連や米国も後押しをしている。

一日に10時間働こうが20時間働こうがお構いなし。残業代は払う必要もなく、時間管理の責任も負う必要がない。よって、過労で倒れても本人の問題となり、使用者側にとっては非常においしい制度だ。

昨今においては長時間労働やそれに伴う不払い残業が後を絶たず、年々増加の一途をたどっている。(ちなみに是正指導件数は2004年で20,299件、前年比1,788件の増加)

増加の一途はそれだけではなく、過労死や健康状態の悪化、うつ病、神経症といった心の病も年々増えているのだ。もし導入されることになればこれらは合法化され使用者側の責任は問われない。

成果主義の制度と相俟って、業績を上げるために長時間労働を余儀なくされ、問題はさらに深刻化することは想像に難くない。

12月5日、日比谷野外音楽堂でこの「ホワイトカラー・イグゼンプション」導入に反対する集会が行われ、連合、全労連、全労協の各団体が一堂に会し、合わせて約1,500人が集まった。世間の関心は今ひとつのようだがこの導入は労働者の健康はもちろんのこと、雇用や給与にも影響を与えるものだ。憲法25条の「健康で文化的な最低限度の生活を営む」ためには労働時間規制の撤廃を許すわけにはいかない。

政府は今月中にも最終報告をまとめ、来年一月からの通常国会にこの制度を明記した労基法改正案の提出を目指している。断固反対しよう。

新東京

N04200

2005年
12月14日(木)

日本郵政公社
労働組合
新東京支部
編集委員会

03-5690-2847
内線 4163

新型区分機

大活躍!?

小包の年末繁忙が始まって数週間が経過した。新型区分機が導入されて初めての年末繁忙であり、様々な問題を抱えたスタートとなった。新型というからには今までの区分機より優れていて、業務もスムーズに流れ、要員も少なく済むはずだが……

しかし、新型区分機は、基本的に自動読み取りで壊れ物も供給出来る優れたものの区分機!とはうたい文句だけ。まず、滞貨ブザーがうるさい。少し小包が詰まると「ピロロロ」音が響く。あと「ピロロ」と警告。そのあと滞貨すると「ビービー」とけたたましい音がする。それが、各シュート口から一斉に聞こえて

くると、神経を逆なでされる。『眠る時にピロロロと耳から聞こえてくる』という人もいる。

各シュート口には、9局位のパレットがセットされている。

今までの区分機は各シュートに局別に小包が落ちてきたので積み込みやすかったが、新型区分機は、9局分の小包が入り乱れて落ちてくるので仕分けするのが大変になった。

シュートの傾斜も緩いので詰まりやすく滞貨ブザーが鳴る要因になっている。

それでも、要員さえいれば何とかなるのだから、短期ゆうメイトの集

まりが悪く、慌てて単価をアップ（日刊参照）した。が後の祭りである。部はやばやと支社の応援も結束が出来ない日々が続く、一般局からの応援が入っている。小包の年繁始まって以来のことである。優れた区分機が導入された。局舎は益々狭隘になった。到着したパレットの保管場も狭く、到着口があつという間にふくれあがり、車が渋滞する。『局に入ってから降ろし終わるまで1時間もかかった』と運転手がぼやいている。空パレットの保管場もなく苦し紛れに各シュー

ト口に保管しているが、出来上がりのパレットを出すのにも苦勞する。一号便を出す頃にはパレットが溢れてくるが、書留搬送、チルド搬送が重なり、非常に危険な状況になる。実際にチルドコンテナに挟まれた人もいる。幸いケガはしなかったが、重大事故が起きてもおかしくない状況が作られている。ピーク時には南北両方の区分機を稼働する。北側で出来上がったパレットを南側に搬送して差し立てを行うが、南側が輻輳して北側に搬送も出来

膨らむ。一号便が出てスペースが出来てから搬送するが臨時便対応もままならない。年末繁忙だから小包が多くなるのは当たり前のことだが、それをスムーズに処理してお客様の信頼を得、民営化後もシェア拡大に結びつけなければならぬ。今年年末繁忙であつたはずだが、現状はお客様からの苦情電話が増加している。とにかく、小包職場は大変な状況になっている。こんなな素晴らしい新区分機にお金をかけて導入した人達は現状をどう見ているのか知りたいものだ。
(投稿)

日 刊

新東京

NO. 4202

2006年
12月18日(月)

日本郵政公社
労働組合
新東京支部
編集委員会

03-5690-2847
内線 4163

「人事制度・

労働条件等について」

《日本郵政株式会社の考え方》①

日本郵政株式会社は、新会社における「人事制度・労働条件等について」とした考え方を本部に示してきた。これは、中央交渉においても、再三にわたり求めてきた新会社の労働条件等の概要について、現段階の考え方を示したものである。

この「人事制度・労働条件等について」の取り扱いは、新会

社の就業規則として定められるものであり、労働協約の対象事項も多くある。てねいな周知と議論を保証するため、本部は、ひとまず考え方を受け止め、内容と考え方を周知していくものである。

細かい内容については来年度2月の第121回中央委員会の議案書で、交渉スタンスとともに

示すことになる。それとともに、当面の要求書を一定整理した経過と、今回示された人事制度・労働条件等に対する本部見解、認識の統一などを中央委員会で求めることとなる。

JPU本部は、中央委員会の議論を経て決定したスタンスにより本格的交渉を展開していき、必要に応じて地方との議論を行い、交渉整理をはかる。

第63回定期全国大会で大綱整理内容を示し、最終的な妥結承認を求める予定である。

《人事関係》

◎社員区分は、正規社員と非正規社員の区分となり非正規社員の中に契約社員（キャリアス・タッフ・一般）・パート・アルバイト等に分かれる。業務内容・難易度の他雇用期間・勤務時間

の観点から区分けされる。キャリアスタッフから正規社員の登用を検討。

◎就業規則に出向・転籍を行う旨を規定したい。各社において全社員から毎年転籍希望を聴取、経営判断・要員事情を踏まえ実施する。

◎正規社員の定年は60歳。定年退職者を対象に高齢者再雇用の制度化。民営化後の定年前退職者は選考によりキャリアスタッフとして採用。民営化前の定年前早期退職者については経過措置を設ける。

◎就業規則に解雇事由を規定。「業務の廃止縮小等やむを得ない場合」(整理解雇)。30日前に解雇予告又は、30日以上の解雇予告手当。

【詳しくはUINET 291】

スタートアップ2007 「JPU東京ふれ愛フェスタ」

来年10月に控えた民営・分社化にむけての「スタートアップ2007」は組合員・家族が自信を持つための「元気づくり」を基本にJPU東京として進めてきました。

各支部の組織部長を実行委員とし、2回の実行委員会を開催しながら各イベントについて検討してきました。

名称を「JPU東京ふれ愛フェスタ」とし、年間の執行方針に基づいた各イベント「ワールドファイト」「囲碁・将棋大会」「サッカー大会」「ゴルフ大会」「中国訪問団」「JUN

「Iフノリピン交流」に加え、「浅草花やしき」「三宅島交流」「塩原グリーンビレッジ」「大丸デパート屋上での納涼ビアパーティー」を実施することが決定されました。

今後は、時期に合わせながら企画委員会を開催していく事とします。組合員・家族が参加して楽しい企画を目指していきますので、各イベントへの参加をお待ちしています。

JPU東京スタートアップ2007

実行委員長 小川 英一
副実行委員長 茨井 昭一
事務局長 小林 忍
事務局 地本執行委員
実行委員 支部組織部長

イベント	時期	場所	主な対象	募集数	責任者
花やしき	4月27日(金) 18:30~20:30	浅草	全組合員と家族	1000名程度	高橋執行委員 布施執行委員
三宅島交流	5月2日(水)~5日(日) 3泊4日(船中1泊)	三宅島	島嶼支部中心に 東京からも参加	東京30名 島15名	八木執行委員
塩原グリーンビレッジ	7月21日(土)~23日(月) 日帰り~2泊3日	栃木県 塩原	全組合員と家族	延べ2000名 程度	平野執行委員 高橋執行委員
納涼ビアパーティー	7月27日(金) 18:30~20:30	大丸 デパート	40、50代、 OB中心に	800名程度	川内執行委員
フィリピン交流	2月10日(土)~13日(火)		青年部中心	20名	茨井副委員長
訪中団	4月4日(水)~8日(日)		訪中経験者中心	20~30名	川内執行委員

「人事制度・

労働条件等について」

《日本郵政株式会社の考え方》②

《労働条件関係》

◎給与・昇級・昇格・賞与・勤務時間は基本的に現行と同様。俸給表等は基本的に現行と同様だが郵便局会社は業務調整額を整理。給与の支給日は24日としていきたい。

◎退職手当は退職手当法が適用されなくなるため労働協約を締結する。各社において勸奨退

職を実施していく。各社の経営判断により勸奨退職独自プレミアを決定。

◎有給休暇（年休・特休・病休・代替）は現行と同様としたい。労災保険適用に伴い業務傷病の病休を無給化。介護休暇の名称は介護休業に変更。育児介護休業法が適用となるが現行と同様としたい。非正規社員にも

介護休業と育児休業（1歳まで）を認める。

◎雇用保険が全社員に適用される。労働者災害補償保険に基づき補償。

《労働組合関係》

◎各社と組合が個別に団体交渉、協約を締結する。

◎各社ごとに労使協議会を設置。団体交渉とは異なり労使の合意、共同決定を前提としない。課題は経営戦略・効率化・生産性向上・経営計画及び達成状況。

◎団体交渉の範囲は公社解散の際、現に労働協約を締結している事項。退職手当・出向転籍等は新たに団体交渉事項となる。

◎特労法で禁止されていた争議行為（ストライキ）は可能となる。

◎36を9月中旬としたい。

【詳しくはUINET 291】

日 刊

新東京

NO. 4204

2006年
10月20日(木)

日本郵政公社
労働組合
新東京支部
編集委員会

03-5690-2847
内線 4163

「本で学ばぬ パレスチナ問題」 「すばらしい世界旅行」イスラエル

ヨルダンから国境であるキングフセイン橋を渡りイスラエルへ……。ウエスト・バンクといわれるここヨルダン川西岸は、パレスチナ自治区である。その自治区からエルサレムに向かった私の目に飛び込んできた驚きの風景は、パレスチナとイスラエ

ルを分断する国境のような大きな『壁』でした。

まるで、刑務所の壁を想像させるこの壁は、パレスチナからの自爆行為の予防策として、イスラエル政府が独断で建設をしている物なのです。また、この建設に当たっては国連が決めた

境を無視して、イスラエルの有益となるように建設が行われています。

パレスチナ問題を日本のニュースでしか触れたことのない私は、実際に目し、またこうしたイスラエル政府の行為を現地の人達から聞くうちにパレスチナ問題への興味とイスラエル政府の行為への怒りに似た何かを感じました。

活字の苦手な私は、安宿で知り合った日本人ジャーナリストにこの問題についていろいろ教えてもらいました。その人の誘いで、パレスチナ自治区ピリン村で行われた壁建設反対と撤去を求めるデモの取材に同行させてもらいました。

初めは、イスラエル兵とのにらみ合いと罵声でしたが、次第

に各国の活動家や現地住民がエ
キサイト：イスラエル兵と小競
り合いとなつていきました。イ
スラエル軍からは催涙弾や実弾
をゴムに換えた自動小銃が：さ
ながら小さな戦場と化してしま
いました。私は、畑の中・民家
の庭を通り抜けて退散…。

投石しか武器のない現地パレ
スチナ住民。まるで大人と幼稚
園児の喧嘩を見ているようで悲
しくなつてしまいました。

パレスチナ側の武装組織ハマ
スの話は別として、このように
相手にならない物にでも戦つて
いかななくてはならない現地パレ
スチナ人…。

パレスチナ人ができる最大の
の抵抗行為は自爆テロ。世論は
無差別殺人とか非人道的行為と
批判しているけれども、自爆を

テロといふのであれば、イスラ
エルが行っている行為もすべて
テロと呼ぶべきではないでしょ
うか？

そのことを私は、ここで痛烈
に感じました。

私はこれから、パレスチナの
行かう自爆テロは「テロ」とは言
わずに「自爆行為」という言葉
で言い表そうと心に誓いました。

パレスチナ問題は、素人であ
る私がとやかく言つてどうにか
なる問題ではありませんが、た
だこうした事実をたくさんの人
に知ってもらふこと、語りかけ
ていくことが自分にできるもつ
とも効果的な、イスラエルへの
抗議だと思っています。

旅人 ダン

◎早くも忘年会の時季となりました◎

年末にかけて、お酒を飲む機会が多くなる季節となり
ました。

あらためて言うまでもないでしょうが、飲酒後の自動
車等の運転は絶対にやめましょう。

また、楽しいお酒の席のはずが…、イヤな思いをしたと
いう人は組合役員に相談してください。セクハラ・パワハ
ラなど絶対やめましょう。 (あたりまえか…)

猫の読書

4冊目

「愛国者は信用できるか」 鈴木 邦男

講談社現代新書 700円+消費税

約3年前、東京都立の学校で、国旗掲揚・国歌斉唱の際に起立しなかった教師たちが処分を受けた事件を覚えているでしょうか。小渕政権下で成立した『国旗・国歌法』は「この法律は強制ではありません」と政府首脳が明言したにもかかわらず、この東京都の処分を始め、国歌の音量・ロパクチェックや、通知表に愛国心の有無を評価項目に入れるなど、結局ほぼ強制と言える運用がなされています。しかも、現在、国会で改正教育基本法が、拙速な討議時間の上、数の論理で成立してしまいました(ケツ)。国旗・国歌にしる、教育基本法にしる、わざわざ「愛国心を強制する」という事は、裏を返せば「強制する側が愛国心を信じていない、もしくは信じることに自信がない」という事に他なりません。

この本の著者は、有名な新右翼「一水会」の創設者です(現在は顧問)。毎日国旗を掲揚し、国歌を歌って愛国運動を40年と、筋金入りの愛国者を自認する著者ですが、最近は各種問題で少しでも慎重な意見を述べると「愛国心がないのか」と非難する方々がいるそうです。「愛国心」を大声で叫ぶ日本人が多くなった今、本当の「愛国」とは何なのかを、1970年に割腹自殺した三島由紀夫の思想と、著者自らの半生を中心に考察しています。当然(?)、右翼なら避けて通れない、皇室の女帝・女系問題にも触れています(なお、この本は秋篠宮紀子妃が懐妊・出産する前に書かれています)。

タイトルが示している通り、最近の「口だけ愛国者」には懐疑的な結論の本ですが、このご時勢だからこそ、自分の中の「愛国心」はどのようなものなのか、この本を読みながら考えてみるといいかもしれません。

【猫舌】

日 刊

新東京

NO. 4206

2006年
12月22日(金)

日本郵政公社
労働組合
新東京支部
編集委員会

03-5690-2847
内線 4163

二特分会、忘年会を開催。

二〇〇六年、十二月十日(日)錦糸町「北海道」で行われました。

深夜勤務が導入されている中、残念ながら四名の方が都合により参加ができなくなりました。五十名の方々に参加してもらったことができた。この内、十名もの

ゆうメイトさんにも一緒に参加してもらったことができ、本務者とゆうメイトの親睦も兼ねる良い機会になりました。

書記長の「乾杯」。の挨拶からは「鍋、刺身などをつまみながら酒、またはソフトドリンクを飲み、それぞれ楽しく盛り上

が、つてきたらしく、室温がホツカ・ホツカの「北海道」に。

そして毎年恒例のハズレなしの(大?)抽選会を行いました。

M氏とT氏の楽しい進行の中、みんなドキドキしながら自分の抽選番号を見ました。分会役員みんなで手分けして景品を集め、今回の一等商品は入手困難! 2007年度、大相撲カレンダー! みなさん今回の景品はいかがでしたでしょうか?

そして会はあっという間に終わりの時間が迫り、締め挨拶は、分会長にお願いしました。普段からのゆうメイトさ

んの働きのぶりに感謝して
ました。「そして一本締め
ました。」その忘年会は終
了しました。

その後の話では二十三名
の方が二次会に参加した
りなかかったみたい？

カンパをしていただきだ
皆様、景品を提してくだ
さった皆様、そして不運に
もその日勤務のため参加
きなかつた皆様、どうも
がとうございました。いま
の御協力により今年も良
忘年会を行おうと今年も
した。

年を越すと青年部主催の
本当の北海道旅行が企画さ
れているそうです。参加し
てみるか？



2006年未年始繁忙期間中の手当等

《郵便交替制で、祝日給の特例に該当する場合》

	勤務予定	当日の勤務	出勤簿	代休・手当てなど	備 考
12月 23日(土)	(祝)	勤務しない	祝日		
	通 休	勤務した 勤務しない	欠休 通休	代休・通勤手当 代休	通休日の前日及び翌日ともに、特休、病休、介護休、通休、欠勤の場合は代休日は付与されない。
祝 日	昇 替	勤務した 勤務しない	● 休替	代休・通勤手当 代休	再任用！ 昇は代休の対置外 再任用！ 昇は対置外
	勤務を命じら れた場合	勤務した	押印	翌日代休または翌日給 (どちらも選択)	注：翌日代休を選択した場合、正確の勤務時間を記入した分は通勤手当 として125/100

「寄稿」 消えゆく「正月」



二十一世紀に入ってからだろうか、お正月の風景が、すっかり変わってしまった。

以前は「盆と正月は皆で休み」の風習があつて、普段なかなか取得できない長期休暇を気兼ねなく取れる時期だった。働いているのは交通機関と郵便局、そして初詣の神社仏閣周辺ぐらいだった。

だが、コンビニの発展や、ブルがはじけて不景気になり、売り上げを少しでも確保するために、百貨店やスーパーが元旦も営業を続けている。ひいては、それら商店に取引や店卸しをしている業者までもが元旦にも関

わらず仕事をするようになった。日本は現在、第三次産業（農業や製造業以外）に従事している労働人口が多数を占めているから、年末年始の長期休暇取得時期に、休みたくても休めない労働者が増えていることになる（仕事に行つた、または行つてくれた方がカネになつていいと言うかもしれないが）。

それに伴い、元旦の尊さも薄くなつていくようで、初日の出や年賀状などメンドークさいという人が、老若問わず増えていく（特に年賀状は厄介物扱いされ始めている。トホホ）し、おせち料理も店で買ってくる家庭

が多いと聞く。商店が平日と変わらず営業し、そこで働く従業員が普段どおりに出勤している風景を見ると、正月も、徐々に尊さのない季節行事になっていくなあ、と思う。

今は正月を慶事として祝つた世代が残っているからいいが、数十年後には、正月祝いを捨て去り、単なる一商業イベントになり下がる気がしてならない。

【猫舌】

休刊のお知らせ

「日刊新東京」は、
明日12月26日(火)
から来年1月8日(月)
まで休刊します。

2007年もご愛読
の程、よろしくお願
いします。